
波導の戦士

でいあ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

波導の戦士

【Nコード】

N7333I

【作者名】

でいあ

【あらすじ】

記憶を失ったりオルと、その仲間達の冒険物語。時々聞こえる謎の声。その謎の声から授かった‘波導の力’。
一体、自分は何物なのか？謎の声は一体なんなのか…？
これらの謎を説き明かすため、彼らは立ち上がる。

一話・記憶の無い少年（前書き）

ポケモンのオリジナルストーリーです

一話・記憶の無い少年

ここは、ポケモンだけの世界。ポケモンの世界は、タイプごとに別れていて、それぞれ、〴〵領と呼ばれている。

——格闘領に、記憶を失ったリオルがいた。

リオルは、記憶がなく、家族も、友達もいない。近所の、リオルと同じぐらいの年の子には、いつもいじめられている。

リオルは、今日もいじめられていた。

「おゝい！リオルゝ！遊ぼうぜゝゝ！」

わざとらしい口調で、ワンリキーが言った。

「……………」

リオルは、何も言わずに震えていた。

「なんか言えよ！」

ワンリキーの隣にいた、アサナンが言った。

「…………ツ…………！」

リオルは逃げ出した

「おつと！どこ行く気だ？」

しかし、後ろにいたマクノシタに腕を掴まれ、逃げる事が出来な

かった。

「は、はなしてよ……！」

リオルは、必死でもがくが、その腕は、全く離れなかった。

「うるせえ！」

「ぐっ……！」

ワンリキーが、リオルの腹を殴った。リオルは苦痛の声が上がる。

「おらおら！ やっちまえ！」

「ううう……。」「

ワンリキー達は、リオルを囲んで蹴りまくる。

…それが何分続いただろう…リオルは、やっと開放された。

「今日はここまでにしてやるよ。」「

「じゃあな〜！」

「へへっ、すつきりしたぜ。」「

ワンリキー達は、リオルを置いて去って行った…リオルは、ゆっくり立ち上がり、空を眺めた。

空は、綺麗な青色で、雲がゆっくりと流れていた。リオルは、空を眺めながら呟いた。

「……もうやだ……。」

リオルは、しばらく空を見つめていた。

空は、いつの間にか、真っ赤に染まっていた。

「……帰ろう。」

リオルは、家に帰っていった。しばらくすると、小さな洞窟が見えて来た。ここが、リオルの家である。

「ふう……。」

リオルはため息をつく、家の中に入り、岩の上に座った。外見は小さいが、中は意外と広かった。リオルは突然荷物をまとめ始めた。

「……これでよし……と。」

リオルは、黒いマントを羽織り、自分と同じくらいの大きさの、ふるしきを背負って、家を後にした。

「これで……自由になれる……！」

リオルは、希望を胸に、歩き始めた。

しかしリオルは、自分が行く宛てがないことに気付く。

「どこに行く……。」

いつの間にか夜が明け、リオルは、街道がないことに気付く。

「……ここどこかな？」

辺りには、草原が広がっていて、ポケモンも一匹もない。

「…………ッ…………！」

突然、リオルは物凄い頭痛に襲われた。

「うう…！頭が割れるッ…！」

リオルは、頭を抱え込んだ。するとどこからか声が聞こえてきた。

——聞こえるか？

「えっ…………？」

リオルは、その声に驚いた。

『聞こえるか？…リオル。』

「ど、どうして僕の名前を…？」

『リオル…よかった…また会えて…。』

「ま、またって…どうということ…？」

『リオル…お前に‘波導の力’を授けよう…。』

謎の声は、リオルの質問には答えず、そう言った。

「波導の…力？」

『さあ、受け取れ！』

「な、なに…？！」

リオルは、青い光に包まれた。

（なんだ…！この光…！）

『…さあ、終わったぞ…。』

「え？」

『使い方は…自分で考えてくれ…。』

「ちょ、ちよっとまってよ！」

しかし、もう声は返って来なかった。

「いまのは…一体…！」

リオルは、突然驚いた顔をした。

「あっちの方に…ポケモンが沢山いる気がする…でも、なんでこんなこと分かるんだろう…まさか、これが…波導の力…?!」

リオルは、驚きながらも、その方向に向かって歩き出した。

一話・記憶の無い少年（後書き）

一話終わりました！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7333i/>

波導の戦士

2010年10月11日05時30分発行